

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	現代社会要論 (Elements of Modern Society)		
ナンバリングコード	A20210	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 標準レベル 人間力コア科目 / キャリア科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A032051	クラス名	-
担当教員名	鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次、吉本 圭一郎		
履修上の注意、履修条件	教育効果の観点から、受講生を40名に制限します。履修希望者が超過した場合は、第1回目の授業において、選考の参考資料にするためのレポート作成を行います。 ・グループワークを中心に行いますので、他のメンバーに迷惑をかけないよう無遅刻・無欠席で受講して下さい。 ・グループワーク時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加してください。受け身の姿勢では意味がありません。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	『知へのステップ 第3版—大学生からのスタディ・スキルズ—』 (くろしお出版) 学習技術研究会 編著 ※社会参画入門・実習1使用教科書		
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、人間力概論、産学一致の勧めなど		

○基本情報			
授業の目的	現代社会が抱える問題について、資料を基に自ら考え、また、グループで議論することにより、「社会問題を理解し、様々な意見に触れ、自分の考えを持つことができるようになる」「なぜ自分がそのような考えを持つようになったのか、理由を説明し、自分の意見として主張できるようになる」ことを目的とします。		
授業の概要	現代日本社会の根本問題ともいえる、少子高齢社会における課題について、①「高齢社会について考える」②「少子化を解消する」の2つのテーマを設定し、6名程度のチームによるグループワークを通じて、課題解決の提案を行います。社会的な問題に対して、提供された情報・資料および追加収集した情報を分析し、それを基に課題を発見し、その解決策を考え、論理的なストーリーを持った内容を明快にプレゼンテーションできるような能力の向上を図ります。また、チーム内で建設的な話し合いをし、協力しながら成果物を作成する能力も養います。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」	
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①自ら調べ学修ができる。 ②自分の役割を理解し、それに沿った行動ができる。			10点
【知識・理解】	テーマについて必要な知識を獲得できており、問題点の分析に活用することができる。	10点		
【技能・表現・コミュニケーション】	①現代社会における問題点について、適切な手段を用いて表現することができる。 ②現代社会における問題点について、自分の意見を述べるることができる。		10点	20点
【思考・判断・創造】	リテラシーのプロセス(情報分析→課題発見→構想→表現)を獲得し、そのスキルを活用できる。	30点	10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
各テーマの成果物(ポスター、パワーポイント資料)により、現代社会における問題点について、論理的に表現できているか、リテラシーのプロセスが活用できているかを評価します。 ①各テーマの発表(プレゼンテーション)により、現代社会における問題点及びリテラシーのプロセスについて、わかりやすく表現できているかを評価します。 ②グループワークにおける行動により、調べ学修ができているか、自分の役割を理解し、それに沿った行動ができているか、自分の意見を述べているかを評価します。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。	

○その他	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	現代社会要論 (Elements of Modern Society)	授業コード	A032051
	担当教員	鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次、吉本 圭一郎		
学修内容				
1. オリエンテーション				
○授業の目的・内容・進め方・成績評価等について説明				
○受講生決定の参考資料としてのレポート作成				
予習	シラバスを熟読し、授業の目的、概要等を理解する。		約2時間	
復習	ジェネリックスキル(リテラシー・コンピテンシー)について自己分析		約2時間	
2. 現代社会における商店街の意義や価値(1)				
○資料分析				
資料を読んだ上で、商店街が衰退した原因について、複数の視点から考えをまとめる				
予習	商店街について基礎知識を整理		約2時間	
復習	配付資料の再読み込み		約2時間	
3. 現代社会における商店街の意義や価値(2)				
○前回のワークシートの記入例を解説				
○資料分析				
活性化に成功した商店街の事例を読み、それぞれの商店街が成功した要因をあげ、現代社会における商店街の役割や意義に関してまとめる				
予習	前回のワークシートの書き込みを精査		約2時間	
復習	配付資料の再読み込み		約2時間	
4. 現代社会における商店街の意義や価値(3)				
○前回のワークシートの記入例を解説				
○文章作成				
前2回の資料を読んだうえで、商店街が衰退した原因についてまとめ、商店街活性化のいくつかの事例を踏まえて、現代社会における商店街の意義や価値について、600字～800字程度で論じる				
予習	前回のワークシートの書き込みを精査		約2時間	
復習	作成した文章を評価基準に従って推敲し、完成させる。友人2名の文章を評価。		約2時間	
5. 高齢社会について考える(1)				
○高齢社会の問題点・課題について自由に考える(グループワーク)				
○高齢社会の背景・問題点について情報提供(教員)				
予習	高齢社会の問題点・課題について基礎知識を整理		約2時間	
復習	グループワークの内容の整理		約2時間	
6. 高齢社会について考える(2)				
○与えられた資料を読解・分析し、高齢社会における課題を探る				
・資料読解(個人ワーク)				
・専門家グループ会議				
・グループでのまとめ作業				
予習	情報分析		約2時間	
復習	情報整理		約2時間	
7. 高齢社会について考える(3)				
○2030年における望ましい社会像を構想し、その方向性を実現するためのアイデアを出す(グループワーク)				
予習	追加情報の収集		約2時間	
復習	アイデアの整理		約2時間	
8. 高齢社会について考える(4)				
○プレゼンテーション準備「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて描く」(グループワーク)				
・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める				
・模造紙に発表資料を作成				
予習	アイデアの整理		約2時間	
復習	発表資料の作成		約2時間	

○授業計画	科目名	現代社会要論 (Elements of Modern Society)	授業コード	A032051
	担当教員	鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次、吉本 圭一郎		
学修内容				
9. 高齢社会について考える(5)				
○プレゼンテーション「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて提案する」				
予習	発表練習		約2時間	
復習	プレゼンテーションの振り返り		約2時間	
10. 少子化を解消する(1)				
○少子化の原因について自由に考える(グループワーク)				
○少子化の背景・問題点について情報提供(教員)				
予習	少子化の原因について基礎知識を整理		約2時間	
復習	グループワークの内容の整理		約2時間	
11. 少子化を解消する(2)				
○与えられた資料を読解・分析し、少子化の原因を探る				
・資料読解(個人ワーク)				
・専門家グループ会議				
・グループでのまとめ作業				
予習	情報分析		約2時間	
復習	情報整理		約2時間	
12. 少子化を解消する(3)				
○少子化解消のため目指すべき社会のビジョンを構想し、その方向性を実現するためのアイデアを出す(グループワーク)				
予習	追加情報の収集		約2時間	
復習	アイデアの整理		約2時間	
13. 少子化を解消する(4)				
○プレゼンテーション準備「少子化を解消するための具体的な方策を構想し、まとめる」(グループワーク)				
・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める				
・パワーポイント資料作成				
予習	アイデアの整理		約2時間	
復習	発表資料の作成		約2時間	
14. 少子化を解消する(5)				
○プレゼンテーション「少子化を解消するための方策を提案する」				
予習	発表練習		約2時間	
復習	プレゼンテーションの振り返り		約2時間	
15. 振り返り				
○グループワークおよびプレゼンテーションにおける自己の活動を振り返り、どのような能力を獲得できたかを確認する				
予習	これまでのワークシート等を見直す。		約2時間	
復習	リテラシーのプロセスを確認		約2時間	
16. 期末試験				
○与えられた資料を読解・分析し、時間内に課題解決策についての小論文を作成する。				
予習				
復習				